



# ありがとう 赤バス 29年間の歩み

平成元年から平成15年8月導入車両まで採用されていた新京成バスボディカラー誕生から現在までの足跡をご紹介します。



## 誕生の経緯

昭和63（1988）年 新京成電鉄バス事業35周年を機に、バス輸送に対する意義の啓発、企業イメージアップを図るためバスデザインを一新することとしました。デザイン案は社内公募により決定され、安全（Safety）、迅速（Speed）、奉仕（Service）を示した3つの「s」がデザインされています。平成元年（1989年）1月赤バス第1号車となる613号車が鎌ヶ谷営業所に配置されました。

平成元年 (1989)	1月	「613号車」日産デ（富士重工） U33L 大型2ステップバス 鎌ヶ谷営業所に配置
	12月	「N-M15」日産デ（富士重工） RM81G 中型2ステップバス 習志野営業所に配置
平成3年 (1991)	3月	「N-M20」日産デ（富士重工） RM210SN 中型2ステップバス 習志野営業所に配置 モデルチェンジ
平成5年 (1993)	9月	「673号車」日産デ（富士重工） UA440 大型2ステップバス 鎌ヶ谷営業所に配置 中扉4枚折戸へ変更
平成9年 (1997)	8月	「747号車」日産デ（富士重工） JP250NPN大型ワンステップバス 習志野営業所に配置 「748号車」日産デ（富士重工） UA460LSN大型ワンステップバス 鎌ヶ谷営業所に配置 ワンステップバスへ変更
平成10年 (1998)	10月	「773号車」いすゞ（いすゞ） LV832N 大型ノンステップバス 松戸営業所に配置（現松戸新京成バス） 新京成バス初のノンステップバス
平成11年 (1999)	10月	「M23号車」いすゞ（いすゞ） LR223J1 中型ワンステップバス 松戸営業所に配置（現松戸新京成バス） 中型初のワンステップバス中扉4枚折戸
平成12年 (2000)	12月	「806号車」日産デ（富士重工） UA440 大型ノンステップバス 鎌ヶ谷営業所に配置
平成14年 (2002)	2月	「S105」三菱（三菱） BE63 小型2ステップリフト付きバス 鎌ヶ谷営業所に配置 新京成バス初の小型バス
平成14年 (2002)	5月	「M30号車」日産デ（富士重工） RM252GSN 中型ワンステップバス 鎌ヶ谷営業所に配置 中型ワンステップバス中扉引戸
平成14年 (2002)	12月	「M40号車」日産デ（西工） RM252GAN 中型ノンステップバス 鎌ヶ谷営業所に配置 中型初のノンステップバス
平成15年 (2003)	10月	「M68号車」日産デ（西工） RM252GAN 中型ノンステップバス 鎌ヶ谷営業所に配置 赤バス最終車両



同じようで、ちょっと違う！

乗合車から貸切車に転用された「698」号車。車内は2人掛けシートに改造され、貸切バスとして活躍しました  
新京成バス初のノンステップバス「773」号車  
松戸営業所（現松戸新京成バス）に配置されました。



平成12年12月に導入された鎌ヶ谷営業所初のノンステップ大型車「N806」号車  
後輩のノンステップバスに道を譲り平成26年11月に引退しました。



新京成バスの第一線で活躍してきた赤バスたちも、平成15年5月から引退が始まり、バス会社社化後登場した、オリジナルカラーのバスたちに主役の座を譲り、徐々に数を減らしていききました。



Last Run 赤バス  
2017.09

初代大型ワンステップバス3兄弟  
松戸「I744」号車はいすゞ車。  
習志野「N747N」鎌ヶ谷「748」号車は日産デ車。  
「N747N」号車は車体幅が他の車両よりせまく中型車の車幅でした。  
3車3様の3兄弟です。

若かりし頃のM68号車（左）方向幕がLED化されてません。  
右は赤バス初代中型2ステップバス「M16」号車  
ちょっとレトロ感を感じます。



平成14年2月から平成25年4月まで活躍した「三菱ローザ」初の一般路線向け小型車として、新京成バスの新たな道を切り開きました。



いままで、  
ありがとう